

いしかわ

まちづくりView

No.27

目次

金沢西部第二土地区画整理事業完工!	1・2・3
あのみち、このまち“まちづくりめぐり”	
小松市民交流プラザ「The MAT'S」オープン(小松市)	4
七尾駅前第二地区市街地再開発事業 ～再開発ビル「ミナクル」オープン～(七尾市)	5
兼六園周辺魅力ウォッチング(ワークショップの開催)(金沢市)	5
まちづくりの動き	
都市計画法等の改正について	6
交通実験2006	7
センターだより	8

財団法人いしかわまちづくりセンター

特集

金沢西部第二土地区画整理事業完工!

去る10月15日(日)、石川県地場産業振興センターにおいて、金沢西部第二土地区画整理事業の完工式が行われました。式典には谷本知事をはじめ、山出金沢市長、国土交通省の松田都市・地域整備局市街地整備課長など約90名の出席のもと、盛大に執り行われ、式典後には記念行事としてオーケストラアンサンブル

金沢の弦楽四重奏演奏及び社団法人落語協会会長の鈴ヶ舎馬風氏の落語が披露されました。

当日は、事業の完工を祝うかのような爽やかな秋晴れに恵まれ、この上ない日和でした。事業に係わった審議会委員、評価員、事業の推進協議会委員に加え地権者や保留地購入者も多数出席されました。



久寿玉開被



記念行事(オーケストラアンサンブル金沢)

1. 事業の概要

- ・事業名：金沢都市計画事業
金沢西部第二土地区画整理事業
- ・施行面積：35.4 ha
- ・施行期間：H11～19年度
- ・補助期間：H10～18年度
- ・総事業費：107.4億円
- ・地権者数：191名



事業着手時(H18年8月)

2. 事業の特徴

金沢外環状道路海側幹線等の道路や西部緑道等の公園、畝田放水路等の河川や水路、さらに金沢西高校の公有地面積が、事業地全体の約53%を占める公共施設整備が中心といえる事業である。

特に金沢外環状道路海側幹線は、県都金沢の幹線道路のみならず、能登・金沢・加賀を連結し広域交流を促進する重要な役割を担う道路である。

また、当事業地は平成9年度に策定された「金沢西部副都心整備計画」で、先に完工した西部地区や鞍月地区とともに、副都心として位置づけされた区域である。

さらに、当事業地に隣接し同じく副都心の区域として位置づけされている『無量寺第二』の土地区画整理事業についても、準備段階から当事業と連携し、にぎわい交流の拠点として整備すべく、平成16年度に事業着手している。

3. 今後の展望

副都心を形成する金沢駅港線（通称：50m道路）及び県庁を核とした西部地区と鞍月地区に加え、広域交流を担う金沢外環状道路を整備した西部第二の事業完工は、副都心としてさらに成熟していく基盤が整ったといえます。

また本年7月には金沢港大水深岸壁の整備事業のスタートとともに、金沢港に建設機械メーカーのコマツの進出が決まり、海側幹線の北伸区間を取り込む直江地区の土地区画整理事業の立ち上げなど、副都心を取り巻く環境は、より一層の発展に向け大きく変化しています。



金沢外環状道路海側幹線



位置図

そして、基盤整備のみならず、副都心に相応しい街づくりへの地域住民の理解と行政と一体となった取り

整理事業完工!



現在のようす (H18年9月)

くみにより、北陸の中核都市としての地位を確立していく必要があります。

促進等、金沢西部副都心はまさに北陸の中核都市として発展していく高いポテンシャルを秘めております。

これら好条件を最大限に生かし、北陸の中核都市に相応しい質の高い気品ある街となるよう、成熟させていくことが大切と考えています。



4.さらなる飛躍に向けて

現在、副都心として位置づけられ事業が完工した鞍月地区、西部地区、西部第二地区の面積は約209haあり、これに今事業中の無量寺第二地区の19haと港湾地区の約20haを合わせると、総計約248haもの広大な面積となります。

この広大な面積に加え、金沢港の海上輸送などの物流拠点の整備促進、陸上交通では金沢外環状道路海側幹線の整備促進と平成24年に開業予定の北陸新幹線の整備



良好な住宅地も創出

小松市

小松市民交流プラザ「The MAT'S」 11月3日 JR小松駅高架下にオープン

1. マッツとは？

若い世代を中心に、音楽・ダンス・演劇・スポーツ観戦などの多彩な表現活動の拠点となる施設です。多様なジャンルの交流により、小松の新たな活力と魅力を創造していきます。

メインとなるホールは、本格的な音響システムや照明設備を備えたステージと250人を収容できる施設を装備しています。ドラムセット、グランドピアノなどは追加料金なしで使用できます。ラジオスタジオも完備し、ラジオの電波を使って、情報発信できます。開館時間は、午前10時から午前0時（休館日は毎週水曜日と年末年始）で、利用料金は、ホールの場合で1時間2,000円です。



ミキサー
マッツ自慢の1つであるプロ仕様の本格的なミキサー（英国製MIDAS社）

スクリーン
150型電動スクリーンやプロジェクターを使い、スポーツ観戦などを迫力ある画面で楽しめます。



練習風景
オープンに向けて、市民バンド演奏による音響のバランスを調整しています。

2. 建設にいたる経緯

「行政がライブハウス等を建設する？」という突拍子もない計画が持ち上がり、担当課として音楽など、「ど素人集団」であったので当初困惑いたしました。そこで、音楽やダンス、演劇、イベント企画に精通している市民を巻き込み、計画段階から施設の規模・デザイン・音響設備などを検討する懇話会

を設置し、市民の意見を反映いたしました。

また、管理運営やこけら落としなどについても、運営委員会を設置し、オープンまでに8回の会議を行っています。

- H15.9.25～H16.3.16 高架下利用調整会議(4回)
- H16.8.17 調整会議から市長へ答申
(ライブハウスなどを高架下へ)
- H17.8.3～10.31 施設検討懇話会設置(4回)
- H17.11.18 懇話会から市長へデザインの答申
- H18.1.13 懇話会から市長へ音響設備の答申
- H18.3.27 施設の工事着手
- H18.5.10 運営委員会設置(10月まで8回)
- H18.9.15 施設完成
- H18.11.3 オープン



懇話会による施設デザインワークショップの様子

3. 施設の概要

- ・延床面積：325㎡(98坪)
- ・収容人数：椅子席約100人、立見約250人
- ・建設費
 - 総事業費 : 約135百万円
 - 建築費 : 約100百万円(設計監理含)
 - 音響・映像・照明: 約27百万円
 - 楽器・アンプ・マイク: 約8百万円
- ・財源

建築費については、国土交通省の「まちづくり交付金事業」で、音響・映像・照明・楽器などは市単独費(一部まち交)を充てました。

(小松市都市建設部都市計画課 景観・まちづくり担当)

七尾駅前第二地区市街地再開発事業～再開発ビル「ミナ.クル」オープン～

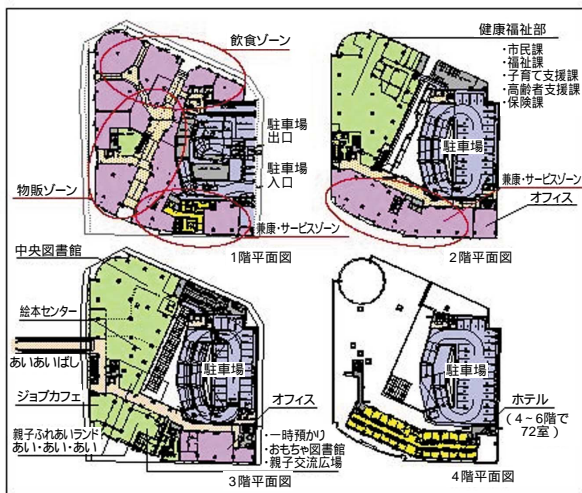
1. はじめに

七尾駅前第二地区は、能登半島の中心であるJR七尾駅前に位置しながらも、インフラ整備が遅れ、狭小道路が輻輳しており、また、老朽木造建築物が大半を占める等、防災面でも早急な対策が必要な地区でした。

このため、市街地再開発事業により、道路及び駅前広場の整備を行うと共に、商業・業務施設、ホテル等が入居する複合ビルを整備し、隣接する第一地区(パトリア)や周辺商店街との一体的な賑わいの創出を図るものです。

2. 事業の概要

施行区域面積	約 2.1 ha
事業期間	平成14年度～平成18年度
施設概要	6階建て、延床面積約14,000㎡
(内訳)	ホテル 約1,730㎡(72室)
	市民施設 約4,200㎡
	商業・業務施設 約4,070㎡
	駐車場 約4,000㎡(約100台)



(フロア配置図)



(オープンセレモニー)

3. 「ミナ.クル」完成!

当事業は、平成14年の都市計画決定以降、平成16年の再開発組合の設立、平成17年の権利変換計画の認可を経て、平成18年7月1日に再開発ビル「ミナ.クル」がオープンしました。

当日は七尾駅前のシンボルをひと目見ようと開店前から人垣ができ、パトリアと連携したイベントやセールで大いに賑わいました。

現在は平成18年度内の事業完了を目指して、残る駅前広場の整備を進めているところです。

広場の完成により、ますます生まれ変わる七尾駅前にご期待ください!



(ミナ.クル完成写真)

兼六園周辺魅力ウォッチング(ワークショップの開催) 「兼六園周辺文化の森の魅力を再発見—楽しく散策できる歩行回遊ルートを考える」

9月30日に「兼六園周辺魅力ウォッチング」が開催されました。県民の方(総勢45名、親子や学生など)に兼六園や本多の森周辺を歩いてもらい、それぞれの目線で感じ取れる魅力資源を見つけ出し、



(現地調査状況)

それらを最大限に活かした歩行回遊ルートについて発表や意見交換を行いました。

参加されたみなさんからは、「レンガや白壁といった「色」に着目したルート」

や「せせらぎを巡るコース」などといったバラエティーに富んだルートの提案や「階段が急で大変」、「休憩スペースがほしい」、「樹木を間引きして見晴らしをよくしてほしい」などの要望をいただきました。

今後は、これらの意見をまとめながら、心地よく、そして楽しく歩ける回遊ルートなどの整備計画策定を進めていきます!

(石川県土木部都市計画課都市政策グループ)



(発表の様子)

まちづくりの動き

都市計画法等の改正について (平成18年5月31日公布)

【改正の趣旨】

コンパクトなまちづくりの一環として、大規模な集客施設の適切な立地を誘導するため、都市計画法が改正されました。

【改正の概要】

改正の主な内容は次のとおりです。

- (1) 都市計画提案権者の範囲の拡大
過去10年間に0.5ha以上の開発許可をうけて開発行為を行ったことがある事業者等が追加されました。
- (2) 準都市計画区域制度の拡充
準都市計画区域の指定の要件を緩和するとともに、指定権者を市町から県に変更しました。
- (3) 広域調整手続きの充実
県が市町の都市計画決定に対する協議同意を行う際に、関係市町から意見を聴取できることとしました。

- (4) 市街化区域、用途地域における立地規制
大規模集客施設が立地可能な用途地域を見直し、下記の図のとおり現行の6から3へ限定されました。
- (5) 非線引き白地地域等における立地規制
非線引き都市計画区域、準都市計画区域内の白地地域では大規模集客施設は原則立地不可となりました。
- (6) 用途を緩和する地区計画制度の創設
上記(4)(5)により規制強化される用途地域及び非線引き都市計画区域内の白地地域においては、大規模集客施設の立地も可能となる新たな地区計画制度(開発整備促進区)を創設しました。

【施行日】

- (1)・・・平成18年8月30日施行
- (2)(3)・・・平成18年11月30日施行
- (4)(5)(6)・・・平成19年11月30日施行

改正前(店舗)		用途地域等	改正後
用途地域	50㎡超不可	第一種低層住居専用地域	同 左
	150㎡超不可	第二種低層住居専用地域	
	500㎡超不可	第一種中高層住居専用地域	
	1,500㎡超不可	第二種中高層住居専用地域	
	3,000㎡超不可	第一種住居地域	
	立地可 (制限なし)	第二種住居地域	大規模集客施設については、用途地域の変更 又は地区計画決定により立地可能
		準住居地域	
		近隣商業地域	立地可 (制限なし)
		商業地域	
		準工業地域	
工業地域	地区計画決定により、大規模集客施設の立地可		
用途変更又は地区計画(再開発等 促進区)決定手続きが必要	工業専用地域	同 左	
原則不可		大規模開発も含め、原則不可	
計画的な大規模開発は許可 (病院、福祉施設、学校等は開発許可不要)	市街化調整区域	地区計画を定めた場合、適合するものは許可 (病院、福祉施設、学校等も開発許可必要)	
立地可 (制限なし)	非線引き都市計画区域、準都市 計画区域の白地地域	大規模集客施設については、用途地域の 指定により立地可能。また、白地地域では、 地区計画決定でも立地可能	

大規模集客施設：床面積1万㎡超の店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等

交通実験2006

はじめに

石川県・金沢市では、交通渋滞の緩和、地球環境の保全、中心市街地の活性化という三つの観点から、公共交通の利用促進を図ることを目的として、平成12年度から交通実験を実施しており、これまでに、シティライナーの運行や終バスの時間延長などが本格実施されてきました。

今年度の実験は、9月16日～11月30日の間、兼六園ループバスの運行や歩行回遊性向上実験、パーク・アンド・ライド特急バス運行実験、環状道路循環バス運行実験の4つの実験を行うものです。



兼六園ループバス出発式の様子

兼六園ループバス運行実験

兼六園周辺の歴史・文化施設と都心軸や中心商店街を結ぶ「兼六園ループバス」を運行し、歴史・文化施設入場者や都心軸を走るバス利用者の増加効果など、ループバス運行の効果を把握することを目的としています。

9月16日から10月31日の実験期間中は、平日20分間隔、休日は10分間隔で運行を行い、前年度の課題であった運転間隔について短縮をおこないました。運賃は昨年度同様1乗車100円とし、また、前回好評だった、文化施設の利用半券でループバス乗車無料や、バス車内で施設割引券の配布を今回も実施しました。その他に都心軸との連携のため、香林坊アトリオ前のわかりやすいバス停の新設や、文化施設・中心市街地のタイアップとして、文化施設半券を商店街で提示するとドリンクサービスなどの特典が受けられるという新たな施策も実施しました。

歩行回遊性向上実験

堅町で既に実施されている歩行者優先空間について、柿木畠商店街や広坂通り商店街まで拡大し、路上でイベント等を実施することにより、賑わいの創出効果の検証を行いました。



広坂通りオープンカフェの様子

環状道路循環バス運行実験

現在、中心市街地に向かって放射状に運行されているバス路線を相互に連結するため、環状方向に循環するバスを新たに運行し、環状方向のバスルートの必要性を検証します。

今回の実験では、1乗車200円としております。なお、バス降車時に当日限り有効の乗り継ぎ100円割引券を配布し、利用者の利便性を向上した上で効果を検証しています。

パーク・アンド・ライド特急バス運行実験

パーク・アンド・ライド利用者が乗るバスを、Kパーク駐車場から片町までノンストップで走る特急バスとして運行することで、南部車庫から片町までの所要時間を約10分間短縮し、このような利便性向上策によって、パーク・アンド・ライドシステム利用者の増加を図ることを目的に実施いたしました。

今回はKパーク駐車場として利用されている南部車庫、バロー高尾店の2箇所を対象としました。

まとめ

今後、アンケートの結果や実態調査を取りまとめ、本格導入の検討を行うこととしております。

公共交通の利用促進は、利用者の意識改革が必要であり、今後も取り組んでいきます。

センターだより

北陸ふるさと普請大会 地域ワークショップin石川

石川の地域づくりを考える「北陸ふるさと普請大会 地域ワークショップ in石川」が9月28日、加賀市大聖寺の江沼神社拝殿にて開催され(当財団協力)、「水辺のまちづくり」をテーマに県内のまちづくり団体や行政関係者ら約100名が参加しました。

加賀市の河南小学校児童の発表を皮切りに、同じく加賀市の歴町センター大聖寺・大聖寺川下りの会、金沢市の女川に菜の花油の灯をともし会、穴水町のカフェローエル実行委員会、七尾市の川への祈り実行委員会が活動発表。滋賀県八幡市の八幡堀を守る会の西村恵美子事務局



旧大聖寺川での乗船体験の様子

長が40年にわたり取り組んできた堀の再生について紹介しました。また、開会に先立ち、参加者は旧大聖寺川での乗船も体験しました。

いしかわこどもの未来創造まちづくり事業

当財団では、まちの未来の担い手である子供たちが、まちやまちづくりを学ぶための活動を支援しています。

今年度は公募により県内5つのまちづくり団体に対し、それぞれ10万円を助成します。

小丸山城址公園活かし隊(七尾市)

8月20日、前田利家ゆかりの小丸山城址公園でクイズラリーを開催。



小丸山城址公園でのクイズラリー

松任駅前フェスタ実行委員会(白山市)

9月16日~10月1日の週末に、松任駅前オープンカフェや親子参加型のイベントを開催。

能登島在所マップづくり(七尾市)

9月24日、八ヶ崎海岸の流木を拾い、流木を使ったアート作品を制作。



流木アート制作の様子

金澤長町まちづくり事務局(金沢市)

長町周辺を題材に大人が制作した読み札について、子供たちが絵札を作成する。10月28日に長町周辺を探検し、11月中にかかる絵を完成させる。



長町周辺の探検の様子

大川やわらぎ街道まちづくり協議会(小松市)

松尾芭蕉ゆかりの地、小松市大川町にて、11月23日に俳句大会を開催。

これらの活動については、来年1月に開催する「いしかわまちづくりNOW」まちづくりリーダー養成事業報告会で活動報告を予定しております。皆様も是非ご参加ください。

編／集／後／記

今回は、金沢西部第二土地区画整理事業の完工式を特集しました。変貌を遂げた金沢西部副都心に今後にも注目していきます。

編集協力：石川県都市計画課
発行：いしかわまちづくりセンター
TEL 076-225-1905 FAX 076-225-1943
HP://www.pref.ishikawa.jp/machicen/index.htm
発行日：平成18年11月